

令和6年度 「こどもの指導法「音楽表現」」実技技能評価及び単位認定試験課題曲

【テキストについて】表中のA・Bは以下の配本テキストです。

A：配本テキスト「こどもの指導法『音楽表現』」（西野洋子 茨木金吾 國光みどり 石川ますみ 田上栄美子 菅原峰子 共著）

B：(旧)配本テキスト「こどもと音楽表現」（西野洋子 編著）

申込資格		実技技能評価 課題曲		
基礎演習Ⅰ	○ 次の学習を修了していること A・・・「基礎演習Ⅰ」の学習が修了していること 第1章 基礎演習Ⅰ p.1～p.27 B・・・①ピアノ p.2～p.41 ②ソルフェージュ 1番～31番	ピアノ	課題曲1	・バイエルピアノ教則本 第45番 [A・・・p.11、B・・・p.14]
			課題曲2	・バイエルピアノ教則本 第60番 [A・・・p.15、B・・・p.22]
		ソルフェージュ	課題曲1	・コールユーブンゲン No.26 - d [A・・・20番(p.22)、B・・・22番(p.6)]
			課題曲2	・コールユーブンゲン No.30 - g [A・・・24番(p.23)、B・・・26番(p.9)]
基礎演習Ⅱ	○ 「基礎演習Ⅰ」を合格していること ○ 次に示す学習を修了していること A・・・「基礎演習Ⅱ」の学習が修了していること 第2章 基礎演習Ⅱ p.28～p.55 B・・・①ピアノ p.42～p.65 ②ソルフェージュ 32番～64番	ピアノ	課題曲1	・バイエルピアノ教則本 第98番 [A・・・p.43、B・・・p.50]
			課題曲2	・バイエルピアノ教則本 第104番 [A・・・pp.44-45、B・・・p.57]
		ソルフェージュ	課題曲1	・コールユーブンゲン No.43 - b [A・・・44番(p.49)、B・・・46番(p.16)]
			課題曲2	・コールユーブンゲン No.76 - d [A・・・60番(p.53)、B・・・60番(p.21)]
実践演習	○ 「基礎演習Ⅰ」及び「基礎演習Ⅱ」を合格していること	弾き歌い	課題曲1	やきいもグーチーパー (作詞 阪田 寛夫/作曲 山本 直純)
			課題曲2	おつかいありさん (作詞 関根 栄一/作曲 團 伊玖磨)
			課題曲3	うれしいひなまつり (作詞 サトウハチロー/作曲 河村 光陽)
諸注意	<p>1 反復記号等は省略せずに、楽譜通りに演奏してください。</p> <p>2 短大配本テキスト（赤本）もしくは学院にて配布している「こどものうた」の楽譜を使用します。</p> <p>3 実技技能評価の演奏について</p> <p>(1) 「基礎演習Ⅰ」、「基礎演習Ⅱ」について</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ピアノ・・・課題曲2曲から当日指定された曲を演奏する。 ・ソルフェージュ・・・課題曲2曲から当日指定された曲を演奏する。 <p>(2) 「実践演習」について</p> <ul style="list-style-type: none"> ・弾き歌い・・・課題曲3曲のうち、当日指定された曲をすべて弾き歌いする。 <p>4 受講生は、実技技能評価課題曲の中より、実技技能評価のための楽曲を選択することはできません。 (担当教員より指定された楽曲を拒否した場合は、受講放棄とみなされます。)</p> <p>5 各演習の同時受講は認められません。</p> <p>6 各演習の受講に際しては、ピアノレッスンカードを提示してください。</p> <p>7 「基礎演習Ⅰ」及び「基礎演習Ⅱ」の実技技能評価は、ピアノとソルフェージュ双方の評価を総合判定し、「合格・不合格」の判定をします。</p> <p>8 「基礎演習Ⅰ」及び「基礎演習Ⅱ」で「不合格」となった場合は、再度スクーリングを受講し、「合格」しなければ次の演習へ進めません。</p>			